

# おち町

No. 105

2013 (H25) 8/1  
高知県越知町議会

議会だより OCHI TOWN



さわやかな笑顔は暑さも忘れる (保育園夕涼み会)

## 6月定例会

平成25年度一般会計補正予算13億6195万円

2P 町営住宅建設9億9027万円

4P 住宅建設費削減動議を否決

5人が一般質問

8P 定住、医療、防災対策を問う

議会です  
さんには

# みんなアジサイに育てられた



大勢のボランティアにも感謝



当日取材に応じていただいた3人  
「皆さんのおかげです。ありがたい」と武智五郎さん(右)  
「あじさいでは先輩の春野町の人も喜んでくれた」と山中梅子さん(中)  
「日ノ浦の人は仲が良く家や道をいつもきれいにしている」と社会福祉協議会の大崎加代子さん(左)



みんなが心をこめておもてなし

**議会を傍聴しませんか**  
6月定例会の傍聴者は延べ11人でした。次の定例会は9月です。たくさんの傍聴をお待ちしています。

地域のの人たちと共に「あじさいまつり」を続けている日ノ浦あじさい会会長の武智五郎さんに今年新設した双子休憩所で話を伺いました。

平成6年に老人クラブの仲間から「花を植えて地域をきれいにしよう」という話が基で20人くらいがあじさいを挿し木で増やし、黒石小学校(現在は休校)の児童や先生も協力して、日ノ浦から黒石小学校までの9キロ区間の道路沿いに植え、およそ2万株が咲くあじさい街道となりました。

数年後、マスコミに取り上げられたことで、町内外から大勢の見物人が来るようになり、平成16年から「あじさいまつり」を開催し、今年で9回目とのこと。

当初は、特別な商品を構えるわけでもなく、地域で採れた農産物や餅つきなどで持てなしたところ、これが評判を呼び、最近では地元出身者や地区外からの協力者、大学生などのボランティアも増え、今年の開花時期の来客者は2000人を超したそうです。

武智さんは「先輩たちと始めた『あじさいまつり』がこんなに大きくなるのは…」と喜び、地域の活性化は日ノ浦だけでなく町全体へと広がっています。

武智さんは「地区民みんながあじさいによって育てられており、励みになっている」と述べられ、駐車場が少ないのが悩みの種のようなですが「これからは他の地域とも絆を深め楽しい地域を広げていきたい」と夢を語ってくれました。

## 編集後記

地域おこし協力隊3人、緑のふるさと協力隊1人が活躍している。うち3人は本年度から移住者となり、都会との生活の違いを実感していることだらう。

少子高齢化が進み、若者がいなくなった山間地域では協力隊の出番は多方面にわたり、地域は活力と元気を与える大きな力となっており、移住の先駆けとして期待される。

今議会は、人口減少に歯止めを掛けるための定住、移住を目指すための住宅建設が焦点となり、賛否両論の中、可決し、建設が進むことになった。

執行者は大きな責任を負うこととなり、町民の期待に応える結果が求められる。

(斎藤)

編集・発行責任者	議長 岡林幸政
議会広報常任委員会	委員長 岡林幸政
委員長	副委員長 斎藤政広
委員	委員 武智龍
委員	委員 高橋丈一
委員	委員 市原静子

※分かりやすい紙面にと心がけています。読後のご感想、ご意見をお寄せください。

# 町営住宅建設 9億9027万円

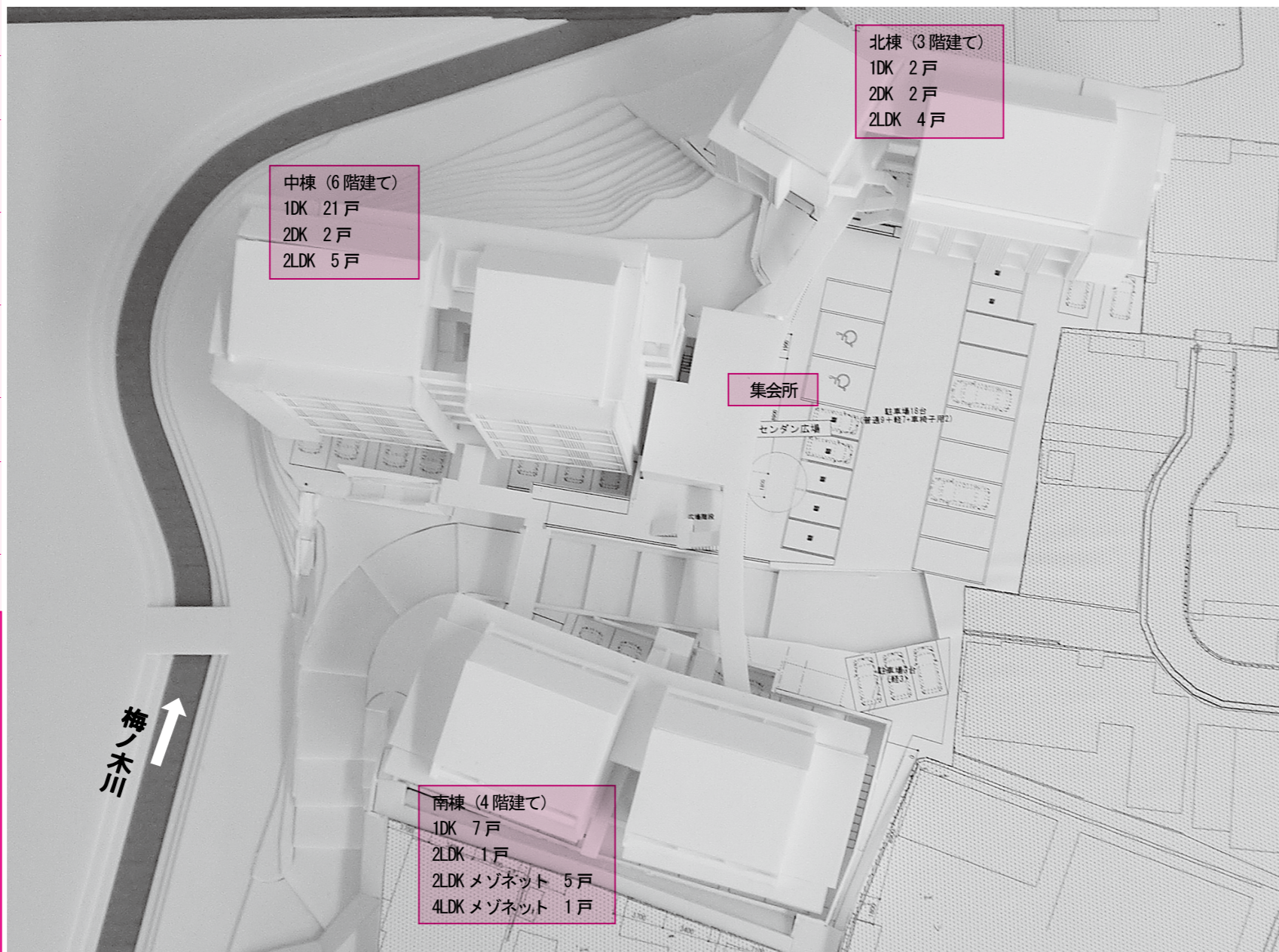
## 賛成6、反対4 (欠席1) で可決

### 平成25年度一般会計補正予算13億6195万円

6月定例会は、14日から18日まで開き、条例の一部改正など3件、平成25年度一般会計補正予算および特別会計補正予算など5件を可決し、専決処分7件を承認、町監査委員の選任など人事案2件を同意しました。

### 町営住宅建設費を削減する修正案は否決

武智龍議員ほか3人が提出した、一般会計補正予算から住宅建設事業費を削減する修正動議は、賛成4・反対6(欠席1)で否決しました。【4面に関連記事】  
一般質問【8面から】は5人が定住対策や医療、防災対策などの質問を行いました。



平成25年度補正予算

会計名	補正額	総額	賛否
一般会計	13億6195万円	50億3777万円	賛成6、反対4
土地取得事業特別会計	4830万円	1億2861万円	賛成8、反対2
企業会計(水道)	900万円	6682万円	賛成・全員

Contents No105 Aug 2013

- 04 住宅建設費削減動議を否決
- 05 住宅建設反対の陳情を不採択  
議案質疑
- 06 肺炎球菌ワクチン接種に補助  
こんなことが決まったぜよ
- 07 町道山室線改良1100万円増額  
一般質問
- 08 定住、医療、防災対策など5人が問う
- 13 追跡!自主防災組織の現状  
議会ですこんにちは
- 14 みんなアジサイに育てられた「日ノ浦」

3区の林屋敷団地(仮称)は、北棟(3階建て)・中棟(6階建て)・南棟(4階建て)の3棟に分かれ、屋根には太陽光発電パネルを設置して集会所などの共有部分の電気料金に充て、残りは売電する。

1階がすべて駐車場で2階からが居住スペースとなる。

間取りは1DKから4LDKで、単身者向け30戸、世帯向け20戸。中棟には車いす対応住居が2戸。南棟には1住居が2階建て形式のメゾネットタイプもある。

1階まで下りずに各棟へ行き来できる通路(コミュニティブリッジ)があり、中棟東隣の集会所へもつながっている。

来年11~12月の完成を目指している。

【4面、10面、12面に関連記事】

# 住宅建設費9億9027万円を削減する修正案は否決

(賛成4・反対6)

一般会計補正予算から住宅建設費9億9027万円(土地購入費4830万円含む)を削減する修正動議は、賛成4人・反対6人で否決しました。

## 修正案発議者

武智龍、片岡清則  
山橋正男、岡林学

町営住宅建設のため、越知中学校寄宿舎跡地に隣接する民有地1件の購入を平成22年9月に全会一致で決定した。

しかし、同年10月12日に税務署に提出した租税特別措置法の適用には、50戸以上の住宅建設が条件と分かっていながら、議会には1年以上説明せず、用地取得や測量、地盤調査費などの公費を投入し、説明があったのは、平成24年3月である。

50戸という非常に重要な事業規模は、時機を逸せず議会に説明、協議すべき内容であり、執行部の議会不在の姿勢は認められない。

また、平成24年5月と平成25年2月の議会と住

民との懇談会の参加者から、民衆圧迫の恐れがあり、建設反対の意見が多く出された。

複数の議員には多くの住民から大規模住宅は不要との意見が届き、一般質問でも移住者受け入れ割合や町内移転の規制を求め、町内の産業育成につながるやり方を何度も申し入れたが、ほとんど反映されていない。

したがって、林屋敷団地(仮称)建設は議会と住民の賛同は得られず、時期尚早である。

## 修正案提出者への質疑

**問 寺村晃幸議員** 一般質問では建設に反対ではないと言った。

陳情書(建設反対)も不採択となったが、その辺をどう考える。

**答 武智龍議員** 移住者の割合や町内移動の規制をして、段階的にやれば目的は達成できるが、一挙に50戸建てるのは早過ぎる。

**問 西川晃議員** 町内の住民が他町に移ることを防ぐために住宅は必要だ。戸数にこだわる問題ではない。

**答 武智龍議員** 町外に出る人数に応じて段階的に建てればいいが、2年半以上調査すらしていない。

戸別住宅(町営)の政策空き家を修理すれば移住者受け入れもでき、転出を止める手立ては他にもあり、これほど大きなものはいない。

## 討論

### 修正案に反対

**西川晃議員** 町から出る住民を食い止める施策には50戸の住宅が必要だ。町営住宅建設を目的とした土地購入費も満場一致で可決した。

### 修正案に反対

**寺村晃幸議員** 人口減少の抑制効果が期待される。

町内外には町営住宅の完成を待ち望み、入居を希望している人がたくさんいる。

### 修正案に賛成

**片岡清則議員** 土地購入は賛成したが「もう少し議会や住民の意見を聞け」と求めた。しかし、町長は受け入れず、50戸を強行してきた。もう一度考え直すべきだ。

## 町営住宅建設反対の陳情は不採択

総務教育常任委員会に審査を付託していた陳情書は、同委員会および6月定例会で、いずれも賛成なしで不採択と決定しました。

### 陳情の概要

町営住宅の建設は相当規模の団地と推察され、民間の賃貸住宅経営者には死活問題になる。

今後、個人住宅の空き家も増えることが予想され、町営住宅建設は、空き家の増加を助長する可能性がある。

町発展と健全財政を維持するためには町営住宅建設ではなく、民間の賃貸住宅や個人住宅の建設意欲を刺激する政策が必要である。

### 陳情者

小田幸次郎、山下徳隆  
森岡公洋、上川福廣

## 総務教育常任委員会の審査報告

委員長 山橋正男

### 賛成なしで不採択

3区林屋敷の土地購入費は、町営住宅建設を目的として、平成22年9月と平成23年6月定例会で、全会一致で可決しており、建設に伴う基本設計委託費も平成24年3月定例会で可決した。

住宅規模や構造などに異論はあるものの、町営住宅建設そのものを否定するものではない。

本陳情は賛成なしで不採択と決する。

総務教育常任委員会報告を受け、本会議で賛成なしで不採択と決定。

## 意見書

6月定例会では2件を可決し、関係機関に提出しました。

## 消費税率の引き上げ中止を



税率アップは商品の売れ行きにブレーキ

**提出者 武智龍議員**  
来年4月8%、2015年10月10%の消費税率引き上げの計画が進んでいる。

中小零細企業、低所得者層が多い高知県経済にとって消費税増税は効果がなく、「産業振興計

画」の遂行をも妨げるものであり、来年4月から消費税率引き上げは中止するべきである。

《賛成・全員》

**提出先 内閣総理大臣、財務大臣**

## 核兵器の全面禁止

提出者 片岡清則議員

2010年5月の核不拡散条約(NPT)再検討会議から3年になる今も、世界には1万9000発の核兵器が貯蔵、配備されている。

世界で唯一核の惨禍を体験した日本は、2015年NPT再検討会議に

**提出先 内閣総理大臣、総務大臣、外務大臣**

《賛成9・反対1》

## 今年を表紙



毎年恒例の保育園の夕涼み会には大勢の町民が参加し、園児の踊りや花火など数多くのイベントで賑わい、園児たちの笑顔で暑さも忘れられるひと時になりました。(7月13日)

# 肺炎球菌ワクチン 接種委託90万円

70～74歳に一人3000円を補助

**市原静子議員** 肺炎球菌ワクチン接種の一人当たりの補助金と年齢制限は、**岡林住民課長** 一人当たり3000円の補助金。対象者は70～74歳で485人に通知する。

## 子育て調査に 183万円

**斎藤政広議員** 子ども・子育て支援新制度に係るニーズ調査の具体的な内容は、**高橋教育次長** 教育、保育などの現状や要望に関するアンケート調査を、就学前の保護者183人と小学生の保護者229人を対象に行う。

## 間伐に168万円

**武智龍議員** 緊急間伐総合支援事業の補助対象と面積は、**小田産業建設課長** 南ノ川と楠神で、切り捨て間伐を1ヘクタール3万円で3ヘクタール行い、搬出間伐を1ヘクタール18万3000円で3・68ヘクタール行う。

# 起業者の雇用 対策等を支援

**武智龍議員** 農業振興費の起業支援型地域雇用創造事業の目的と内容、継続性の有無は、**小田産業建設課長** 起業して10年以内の会社が対象で、株式会社岡林農園を支援する。事業内容は、新規雇用3人の人件費、商談会等への参加費、広告宣伝費などを補助する。



事業支援で雇用確保と経営の安定を図る(株岡林農園)

# 木ノ栗～津後 新たな道路計画

延長880m、幅員5m

**岡林学議員** 町道後津支線改良交付金工事測量設計はどのような内容か。**小田産業建設課長** 後津から深瀬方面への最初のヘアピンカーブから栗ノ木方面に880メートルを幅員5メートルで新設し、町道今成深瀬線に接続する。  
【7面に関連記事】

**町民体育館の耐震化を図る**  
**岡林学議員** 町民総合運動場体育館耐震補強と大規模改修の設計委託の内容は、**高橋教育次長** 設計委託は7月に入札をして、工事費を12月議会に計上したい。天井、屋根、床、外壁等の改修をスポーツの行事に影響がない1月に行いたい。

## 専決処分

**平成24年度一般会計補正**  
地方交付税の確定により財源調整を行い、減債基金元金等へ8114万円を積み立て、予算総額を57億5024万円とする。  
《承認・全員》

## 固定資産税の課税免除

製造業、情報通信事業、旅館業等の設備を新設または増設した場合の課税免除期間を平成27年3月31日まで延長する。  
《承認・全員》

## 国民健康保険税の軽減

特定世帯（国民健康保険の加入者が一人となった世帯）等の軽減特例措置の恒久化と現行の平等割を5年間半分とし、その後3年間で4分の1軽減する。  
《承認・全員》

**町税の延滞金割合**  
国の関係法令の改正に伴う延滞金の割合の変更。  
《承認・全員》

## 損害の賠償

▼町民会館大ホールのステージの階段からの転落事故によるけがの治療費6万2950円。  
《承認・全員》  
▼出張中の職員が運転する公用車が津野町役場駐車場で同町の公用車に接触したことによる修理費7万6440円。  
《承認・全員》

## 条例の一部改正

●**非常勤職員の報酬等**  
高知県土木部の土木工事設計労務単価が変更されたため、重機等作業員の日額報酬を1万2600円から1万3700円に変更する。  
《賛成・全員》

## 工事の変更契約

●**町道山室線改良工事**  
変更前 4861万5000円  
変更後 5957万9100円  
契約相手 ㈱吉村土建 吉村康司  
山側が軟弱であり、当初計画になかったコンクリート構造物の追加に伴う増額。  
《賛成・全員》

## 条例の廃止

●**多目的集会所施設の廃止**  
野老山本村と横島本村に集会所を新設したため、老朽化した野老山と横島の多目的集会所を廃止する。  
《賛成・全員》

●**岡林学議員** 建物も古くなってきているが、廃止後の管理はどうなる。  
●**小田産業建設課長** 両地区とも新しい集会所ができたため、JAに譲ることも含めて検討している。

## 辺地計画

●**町道後津支線を追加**  
平成23年度から平成27年度まで辺地対策事業で計画している町道今成深瀬線・後津線・深瀬線の3路線の改良舗装工事に町道後津支線新設工事を追加する。  
《賛成・全員》

## 人事

●**町監査委員**  
池裕生氏(越知甲)  
《同意・全員》  
●**人権擁護委員の推薦**  
藤原良一氏(越知甲)  
《同意・全員》



舗装の完成を待っただけの町道山室線



市原静子 議員

## 少子化対策 各分野の支援策は 県外から呼び寄せる／町長

**吉岡町長** 県内の市町村によって取り組みは違うが、高知県に人を呼び込み住んでもらう多くの事業を行っている。  
本町では仁淀川の景色を生かした住みよいサービスを提供し、県外から人を呼び寄せるように取り組むたい。

**小田企画課長** 定住策は総合振興計画に基づいて進めている。  
子育て支援法と住宅政策は相乗効果があり、人口減少の歯止めになる。  
今後、各課で連携した検討会などで具体的に進めていきたい。



安心して暮らせる子育て支援策が望まれている

**山中教育長** 子ども子育て支援法により、本年は子育てに関するニーズ調査を行い、平成26年度以降に計画を立てたい。

## ピロリ菌 保菌の有無の検診を 導入するよう検討／住民課長

すでに日高村が自己負担1700円で血液検査を行っている。  
本町でも導入の方向で検討したい。

**岡林住民課長** 日本人の一番の死因はがんである。中でも胃がんが多く、5万人が死亡しており、そのうち90%がピロリ菌の保菌者である。  
また、50歳以上の7割がピロリ菌に感染していると言われている。  
ピロリ菌が胃がんの主因と分かり、内視鏡検査で感染による慢性胃炎などが確認されれば除菌治療が保険適用となる。

**ピロリ菌**  
ピロリ菌は人などの胃の粘膜に住みつくと細菌で、正式名はヘリコバクターピロリ。検査は、呼気、血液、検便、内視鏡などの方法がある。  
保険適用の除菌治療は、これまで胃潰瘍などの特定疾患に限られていたが、2月21日から、胃炎などの症状でも保険の対象となった。  
保険による除菌治療は内視鏡検査が必須となっている。

**入場整理券の裏に期日前投票宣誓書**  
**問** 選挙の投票入場整理券の裏に期日前投票宣誓書が印刷されたはがきがあり、それに自宅で記入して期日前投票の手続きができる方法がある。  
投票率を上げるため、導入する考えはないか。  
**来年度から検討**  
**片岡総務課長** 昨年12月の選挙では、期日前投票宣誓書に事前に記入したい希望者には渡した。  
今の入場整理券をはがきにして、裏は期日前投票宣誓書にするように来年度から検討したい。

## 防災無線放送

## 「聞こえない」などの苦情は 112件の問い合わせ／総務課長



情報がはっきりと伝わらなければいけない

**片岡総務課長** 112件の問い合わせがあり、そのうち「聞こえない」などの情報が43件。「うるさい」などの苦情が13件寄せられた。  
ポリウームの調整やスピーカーの向きの変更などをしているが、それだけでは難しい場所もあり、戸別受信機などで対応している。

**問** 防災行政無線は、万が一の場合、大変重要な施設である。  
デジタル放送に移行後「聞こえない」、「聞き取れない」などの問い合わせや苦情と、その対応はどのようにしているか。  
また、放送の間隔や話し方の改善はできないか。

**斎藤政広 議員**  
今後は、市街地の一部には子局の増設を予定しており、音質の改善も考えている。また、放送の仕方も改善したい。

## テニスコート 屋根付きで多目的利用を 大きな費用でなければ実施／町長

などの負の状況を招き、財政を圧迫することも考えられる。  
大きな費用でなければ実施する方向で考えた。

**問** 町が管理する道路の草刈りはいつやるのか。  
林道横倉長者線や栃ノ木大平線の一部には、草が生い茂り通行に支障が出ている。  
年2回くらいは実施できないか。

**夏と秋に実施したい**  
**小田産業建設課長** 町全体で750路線を管理しているが、町建設業協会へ31路線委託し、ほかの一部はシルバー人材センターへ予算の範囲内で委託している。  
横倉長者線は建設業協会へ1カ月7人役で委託し、栃ノ木大平線はシルバー人材センターへの委託や作業班で対応している。  
できれば、夏と秋に地元の要望に沿って実施したい。

## その他の質問

**問** 町民会館裏側に乱雑に置いている土木資材などを整理できないか。  
**答** 撤去・処分できるものは整理した。



高橋 文一 議員

**問** 9億4000万円も使った50戸建設はハードルが高いが、町民の負担は増えないのか。民間アパート経営者にも配慮しなくてはならないが、移住促進を重点にすると考えて良いのか。

**吉岡町長** 移住促進を重点に町外の人を入れ、できるだけ民間経営者に影響がないように努力するが、町民は入れないとは言えない。政治生命を懸け、国・県の協力を得ながら全庁挙げて取り組む。

**家賃や工事計画**

**問** 家賃や工事計画はどのようになっているか。また、3区道路の混雑の解消は図れるのか。

**片岡総務課長** 家賃（別表参照）は所得制限のない金額となっている。所得制限はしない

林屋敷団地(仮称)の家賃(案)		
タイプ	戸数	家賃(万円)
1DK	30	2.2~2.3
2DK	4	2.9~3.2
2LDK	10	3.4~3.9
2LDKメゾネット	5	3.1~3.3
4LDKメゾネット	1	6.0

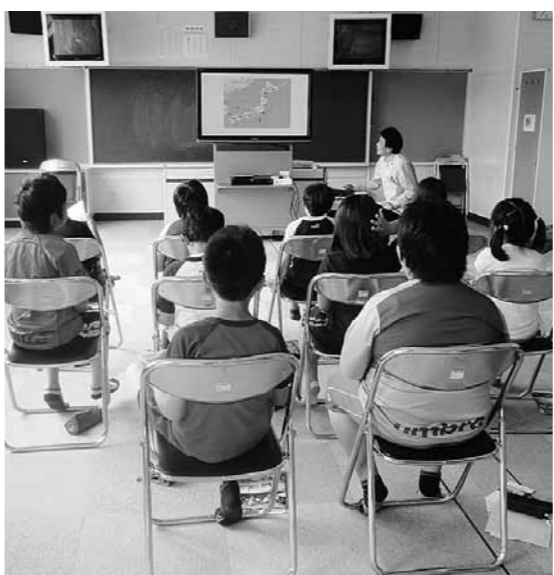
**●メゾネット**  
共同住宅で1住戸が二戸建てのように室内に上下階へ行く階段がある構造。

**来年12月完成予定**

**小田企画課長** 開発許可を得て、7~8月に進入路と造成工事を始め、来年1月に本体工事を発注し、12月完成をめどに進めたい。

**西から出入り**

**吉岡町長** できるだけ3区の道は使わず、梅ノ木の西側から出入りするようになりたい。



滝上小児童に越知町を紹介(平成24年6月5日)

**交流事業**

**滝上町児童との交流は**

8月に3泊4日で来町/教育長

**問** 滝上町の児童との交流の目的と受け入れ内容は。また、中学生の韓国修学旅行はどうなる。

**山中教育長** 滝上町とは本年度から小学5年生の交流を始める。夏は本町で冬は滝上町で、互いの気候や風土を体験し、生活や文化、歴史の違いなどを学び、協調性を育む。8月6日~9日に3泊4日の日程で児童11人と引率者9人が来る。仁淀川での川遊びや横倉山の探訪、宮の前公園でバーベキューなどを予定している。中学生の修学旅行は安全が十分確保できないため中止した。

**津波被害の疎開先**

**問** 南海トラフ巨大地震により、津波浸水地域の住民の疎開先とする考えはないか。

本町は病院やヘリポート、町民会館など避難所として使える施設も整っており、受け入れには十分な要素があるのではないか。

**適した土地だ**

**吉岡町長** 大事なことであるが、首長間の話では被災地近辺の自治体になるとのことだ。本町は避難先に適した土地であり、できるだけ早い時期に考えたい。

**3区町営住宅建設**

**移住促進を重点にするのか**

政治生命を懸けて取り組む/町長

**定住促進策**

**具体的計画を示せ**

住宅政策が目玉だ/町長

**問** 今後7年間は、年間の人口減少数を40人以下に抑えないと目標人口6000人の達成はできない。

定住促進の具体的な計画と施策を示せ。

また、転出者を防ぐため、高校生の通学支援は考えていないか。

**吉岡町長** 定住の一番の要素は雇用と住宅だ。雇用確保のための新しい企業誘致は難しいので、住宅政策を目玉にしている。

**9~10月に示す**

**小田企画課長** 計画を体系的に表したものはないが、これから具体的な対策を練り、9月か10月に示したい。

**アンケート調査で対応**

**山中教育長** 高校生は、約130人が町外へ通学していると思う。役場内の公共交通検討委員会アンケートを計画しており、その結果を見て対応する。

**移住者対策**

**受け入れ態勢ができてない**

都市部の相談会でPR/企画課長



大阪から地域おこし協力隊として市山に移り住まれた柳谷さんご一家

**問** 県は2015年度に500組の移住者受け入れを目標にしている。人口減少が進む本町は移住者受け入れ態勢ができていないよう本気度が見えない。

**吉岡町長** 系統だった計画がはつきりできていないが、職員間で話し合っ整理していきたい。

**小田企画課長** 緑のふるさと協力隊や地域おこし協力隊、高知ファイティングドッグスなど、合わせて6世帯12人が移住した。また、学校教員も5人住むことになった。現在、空き家を調査しており、都市部での移住相談会でも広報する。

**バス停移転と発着時刻の変更**

**問** おち町南側のバス停は、安全性確保のため、移転の検討や仁淀川町方面行きと佐川町方面行きが発着時刻が重ならないよう調整できないか。

**岡副町長** 停留所の新設は国交省の基準があり大変難しい。

**その他の質問**

**問** 農業振興計画が一般の人に分かるようなりーフレットなどは作れないか。

**答** 5年後を目標とした計画があり、資料作成は検討したい。

**問** 住宅耐震化への取り組みは。

**答** 現在の耐震化率は47.9%で、改修の補助金は最高90万円となっている。



武智 龍 議員

# あれはどうなっちゅうが？

## 処理状況

**自主防災組織の結成**  
(平成23年6月議会)  
市原静子議員 自主防災組織の結成状況と防災意識・防災力向上の取り組みは、年度末には80%に近づきたい。

**100%の組織化は**  
(平成24年9月議会)  
山橋正男議員 平成26年度に100%の組織化が可能か。

**小規模地区は難しい**  
総務課長 36地区が組織化。100%を目指すのが、小規模地区は単独の組織化は難しい。

## 組織化は80%を超す

本年度は7月までに4区が新たに自主防災組織を結成し、63地区中、37地区で34組織、80・4%が組織化した。今後は小規模集落単独での結成や1丁1不在地区などが課題であり、100%の組織化は困難な状況である。

「地域のみならず自主防災」の模様  
(平成24年9月2日女川)



## 横倉残土処理場

### 管理状況と今後の活用は

#### 越知道路の残土を受け入れ／産業建設課長



片岡清則 議員



土砂の流出を防ぐ対策が必要となっている

**問** 横倉山残土処理場の下側は土留め対策もしていない。観光地としての印象が悪いが、どのようにする計画か。  
また、越知道路の小浜トンネルの残土処理場が必要と思うが、どうするか。

**小田産業建設課長** 5月に土留め対策を予定していたが、国土交通省から越知道路の小浜トンネルの残土場は佐川町に確保したが、その工事に先行して現道の拡幅や橋台の掘削工事が発生する残土処理場の紹介依頼があった。残土量に応じた土留め構造物の設置と運搬道路等の修繕工事を条件として、横倉山残土処理場を紹介している。

## 3区町営住宅建設

### もう一度考え直せ

#### 見直しは不可能だ／町長

**問** 50戸もの町営住宅ができたなら、アパートから町営住宅へ移り、民間経営者は死活問題だということ、反対署名がきている。  
議会は住宅建設には反対ではなく、一戸建てなら町内業者も仕事ができることを期待し、土地購入も満場一致で決定した。しかし、一度に50戸となると話は別だ。もう一度考え直すことはできないか。

**吉岡町長** 制度に基づき進めている。国の補助金も決まり、見直すことは不可能だ。官が民を圧迫するとう可能性はあるが、越知に帰りたいという人がたくさんいる。移住・定住政策の波に乗らないと取り残されて大変厳しい状態になる。

## 下の谷橋の改良は

**問** 下の谷橋は人しか通れないが、昨年9月議会で軽四輪車が通れるように広げるということだった。わずかな費用と思うが、町長の任期満了までにやれるのか。



車が通れる橋に改良される

**吉岡町長** 必ずやるようにしたいと思っている。  
**小田産業建設課長** 橋台には触らないで、上部だけを広げる計画である。大変古い橋のため、荷重に耐えられるかの検討に日数が掛かり、発注が遅れている。

## 広域議会

定例会 (6月3日)

### 諸般報告

**衛生センターの改修を、現在の処理方式の施工実績等を条件として一般競争入札を公告した。**  
9月に請負契約を締結したい。  
**消防無線のデジタル化を県内消防本部と足並みをそろえて、平成26年度着工を計画している。**

### 売買契約

●高吾北清掃センター指定ごみ袋  
契約金額 687万2250円  
契約の相手方 関株 関浩明

●災害対応特殊消防ポンプ自動車  
契約金額 2730万円  
契約の相手方 (有)共栄防災設備 小松晃一

### 藤原俊夫氏を偲んで



町議会議員藤原俊夫氏が病氣入院中、去る6月25日に逝去されました。  
ご本人はもとより、ご家族にとっても、さぞかし無念の思いであったと拝察いたします。

藤原氏は平成6年8月に町議会議員に初当選され、連続5期19年の議員活動をはじめ、さまざまな地域活動の重責を担われ、町発展に骨身を惜しまず尽くされました。  
藤原氏が遺された数多くのご功績は、永遠にわれわれの胸に生き続けることであります。

ここに、謹んでご冥福をお祈りしまして、お別れの言葉といたします。  
平成25年8月 越知町議会